

大学番号：008

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

弘前大学 理工学部

数物科学科・物質創成化学科・地球環境防災学科
電子情報工学科・機械科学科・自然エネルギー学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 弘前大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 専門員 クドウ 工藤 コウキ 公樹

電話番号 0172-39-3837

（夜間） 0172-39-3837

F A X 0172-39-3499

e-mail jmgaku@hirosaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

理工学部

＜数物科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

＜物質創成化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	22
2. 授業科目の概要	26
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	32
5. 教員組織の状況	35
6. 留意事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

＜地球環境防災学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	40
2. 授業科目の概要	44
3. 施設・設備の整備状況、経費	50
4. 既設大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	54
6. 留意事項等に対する履行状況等	58
7. その他全般的事項	59

＜電子情報工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	61
2. 授業科目の概要	65
3. 施設・設備の整備状況、経費	70
4. 既設大学等の状況	71
5. 教員組織の状況	74
6. 留意事項等に対する履行状況等	78
7. その他全般的事項	79

＜機械科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	81
2. 授業科目の概要	85
3. 施設・設備の整備状況、経費	92
4. 既設大学等の状況	93
5. 教員組織の状況	96
6. 留意事項等に対する履行状況等	100
7. その他全般的事項	101

＜自然エネルギー学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	103
2. 授業科目の概要	107
3. 施設・設備の整備状況、経費	112
4. 既設大学等の状況	113
5. 教員組織の状況	116
6. 留意事項等に対する履行状況等	120
7. その他全般的事項	121

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 大学の位置

〒036-8561

青森県弘前市大字文京町3番地（青森県弘前市大字文京町1番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 数物科学科 学士 (理工学)	4年	78人	2人 3年次	316人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	78 (3年次 2) [若干名]		() []		() []		() []		1.02 倍	
志願者数	272 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	201 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	88 (-) [0]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	80 (-) [0]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 80	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[0] (-) 80	[-] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	80 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	80 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 数物科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	導入スキルデイ 基礎ゼミナール	1前	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	地域学ゼミナール	1後	2			38 33	40 35	3	14 12			教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
ローカル科目	青森の行政	1前	2								兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の経済・産業	1前	2								兼3	
	青森の文化	1前	2								兼7 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の歴史	1前	2								兼9 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森の芸術	1前	2								兼7 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森の民俗・芸能	1前	2								兼3	
	青森の自然	1前	2			1	3 1	2	1		兼25 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
グローバル科目	グローバル社会・経済	1後	2								兼4 兼7	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	国際地域	1後	2								兼8 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	比較文化	1後	2								兼3 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	世界の芸術・芸能	1後	2								兼6	
	地球環境	1後	2			1					兼9 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	グローバルヘルス 日本	1後 1後	2 2								兼50 兼8	2年以上の授業科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講 (28)
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化	2前～4後	2			1	1	1			兼22 兼63	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の食と産業化	2前～4後	2								兼13	
	市民参加と地域づくり	2前～4後	2								兼14 兼10	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森エクスカージョン	2前～4後	2								兼15 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	地域プロジェクト演習	2前～4後	2								兼17 兼23	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
社会・文化	くらし・文化	1前・後	2								兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	歴史・地理	1前・後	2								兼7 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	思想	1前・後	2								兼4 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	言語学の世界	1前・後	2								兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	文学	1前・後	2								兼5	
	芸術	1前・後	2								兼17 兼22	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	政治経済・社会	1前・後	2								兼18 兼12	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	法と社会 A	1前・後	2								兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
法と社会 B	1前・後	2								兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
自由						3	1				兼29	

然・科学	環境と生活	1前・後	2	-4	2				兼11 兼8 兼15	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28) 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	工学の世界	1前・後	2	1	2				兼6 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	農学の世界	1前・後	2						兼2	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	数学の世界	1前・後	2	1					兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	物理学の世界	1前・後	2	2	3			1	兼8 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	化学の世界	1前・後	2	3	3			1	兼27 兼18	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	生物学の世界	1前・後	2					1	兼4 兼5	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門A	1前・後	2					4	兼7 兼12	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門B	1前・後	2	2	8	1		1		教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
人間・生命	人間の尊厳	1前・後	2						兼6 兼7	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	人を育む営み	1前・後	2						兼23 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	心理学の世界	1前・後	2						兼5 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	メンタルヘルス	1前・後	2						兼5 兼14	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	生活と健康	1前・後	2						兼9 兼19	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	運動と健康A	1前・後	2						兼16 兼13	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	運動と健康B	1前・後	2						兼3 兼6	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	医学・医療の世界 情報と健康・医学	1前・後 1前・後	2 2						兼60 兼50 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	1 2						兼4 兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる単位数及び担当教員の変更 (28)
	キャリア形成の発展	2前	3						兼4	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目追加 (28)
	キャリア形成の発展A	3前	2						兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展B	3前	2						兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展C	3前	2						兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリアデザイン	2前~4後	2		1				兼11 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
英語	Listening (初級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (中級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (上級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (初級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (中級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (上級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (初級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (中級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (上級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Writing (初級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)

		Writing (中級)	1後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Writing (上級)	1後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated A (国際共通語としての英語)	2前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 1	2後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 2	3前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated C (キャリア英語)	3前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	多言語	ドイツ語 I	1前	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ドイツ語 II	1後	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ドイツ語 III	2後	2								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 I	1前	4								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 II	1後	4								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 III	2前	2								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ロシア語 I	1前	4								兼1	
		ロシア語 II	1後	4								兼1	
		中国語 I	1前	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		中国語 II	1後	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		朝鮮語 I	1前	4								兼1	
		朝鮮語 II	1後	4								兼1	
専門教育科目(数理科学コース)	コア基礎科目	理工系の数学A	1前	2			1						
		理工系の数学B	1前	2			1						
		力学 I	1前	2			1						
		微分積分学	1後	2			1						
		電磁気学 I	1後	2			1						
		統計学の基礎	1後	2				1					
	個別基礎科目	基礎数学演習A	1後		2			1					
		基礎数学演習B	1後		2					1			
		基礎物理学演習	1後		2				1				
		力学 II	1後		2				1				
	選択科目	微分方程式	2前		2			1					
		ベクトル解析	2後		2			1					
		確率・統計 I	2後		2				1				
		集合・位相 I	2前		2				1				
		集合・位相 II	2後		2			1					
		応用数理演習 I	2後		2			1					
		代数学 I	2前		2				1				
		代数学演習 I	2前		2				1				
		代数学 II	2後		2				1				
		代数学演習 II	2後		2				1				
解析学序論 I		2前		2				1					
解析学序論演習 I		2前		2				1					
解析学序論 II		2後		2			1						
解析学序論演習 II		2後		2			1						
計算科学基礎演習	2後		2					1					
幾何学 I	3前		2			1							
幾何学 II	3後		2			1							
専門必修		数理科学特別ゼミA	4前	2			4	5		1			

I 応用科目	専 科 目	数理科学特別ゼミB	4後	2		4	5		1				
		数理科学英語演習A	4前	2		4	5		1				
		数理科学英語演習B	4後	2		4	5		1				
		科学技術英語	3後	2		4	5		1				
	選 択 科 目	代数学Ⅲ	3前		2		1						
		代数学演習Ⅲ	3前		2		1						
		実解析	3前		2		1						
		実解析演習	3前		2		1						
		複素解析	3後		2			1					
		複素解析演習	3後		2			1					
		確率・統計Ⅱ	3前		2			1					
		最適化理論	3前		2			1					
		離散数学	3後		2					1			
		応用数理演習Ⅱ	3前		2		2						
応用数理演習Ⅲ		3後		2			2						
ゲーム理論		3後		2			1						
数理経済学	3後		2		2	2							
計算科学応用演習	3前		2			1							
マ ネ ジ メ ン ト 科 目	経営管理論	2前		2								兼1	
	ベンチャービジネス論	2後		2								兼1	
	現代科学史	2前		2								兼1	
	知的財産論	3後		2								兼1	
	技術者倫理	3前		2								兼1	
企業経営史Ⅰ	4前		2								兼1		
	卒業研究	4通	12			10	11		1				
専 門 教 育 科 目 (物 質 宇 宙 物 理 学 コ ー ス)	コ ア 基 礎 科 目	理工系の数学A	1前	2		1							
		理工系の数学B	1前	2		1							
		微分積分学	1後	2		1							
		力学Ⅰ	1前	2		1							
		電磁気学Ⅰ	1後	2		1							
		統計学の基礎	1後	2			1						
		化学概論	2前	2		1							
	個 別 基 礎 科 目	基礎物理学演習	1後	2			1						
		力学Ⅱ	1後	2			1						
		電磁気学Ⅱ	2前	2		1							
		電磁気学演習	2前	2		1							
		物理数学Ⅰ	2前	2			1						
		解析力学	2前	2			1						
		量子力学Ⅰ	2前	2		1							
		量子力学演習Ⅰ	2前	2		1			1				
		計算機演習	2前	4			1						
		基礎物理学実験Ⅰ	2前	2		2	3		1				
		物理数学Ⅱ	2後	2			1						
		量子力学Ⅱ	2後	2		1							
	量子力学演習Ⅱ	2後	2		1			1					
	熱力学	2後	2		1								
	基礎物理学実験Ⅱ	2後	2		2	3		1					
	選 択 科 目	基礎数学演習A	1後		2		1						
		基礎数学演習B	1後		2					1			
		地球環境学概論	1前		2							兼6 兼1	教育内容充実のため、担当教員の追加(28)
	専 門 応 用 科 目	必修科目	先端物理学Ⅰ	2前	2		5	6		1			
		先端物理学Ⅱ	2後	2		5	6		1				
物理学特別講義		3前	2		5	6		1					
物理学実験Ⅰ		3前	2		2	3		1					

		物理学実験Ⅱ	3後	2			2	3		1			
		物理学特別ゼミA	4前	2			5	6		1			
		物理学特別ゼミB	4後	2			5	6		1			
		科学技術英語	3後	2			5	6		1			
		物理学英語演習A	4前	2			5	6		1			
		物理学英語演習B	4後	2			5	6		1			
	選択科目	計算機シミュレーション	2後		2			1					
		固体物理学	2後		2			1					
		統計力学	3前		2		1						
		相対性理論	3前		2		1						
		磁性物理学	3前		2				1				
		超伝導物理学	3前		2		1						
		表面物理学	3前		2			1					
		固体分光学	3前		2			1					
		X線解析学	3前		2		1						
		量子機能創成論	3後		2			1					
		宇宙物理学	3後		2		1						
		原子核物理学	3後		2			1					
		放射光科学	3後		2		1						
		半導体物理学	3後		2			1					
		結晶材料制御学	3後		2		1						
	マネジメント科目	経営管理論	3前		2							兼1	
		ベンチャービジネス論	3後		2							兼1	
		現代科学史	3前		2							兼1	
		知的財産論	3前		2							兼1	
		技術者倫理	3前		2							兼1	
		企業経営史Ⅰ	3前		2							兼1	
		卒業研究	4通	12			10	11		1			
専門教育科目(応用計算科学コース)	コア基礎科目	理工系の数学A	1前	2			1						
		理工系の数学B	1前	2			1						
		力学Ⅰ	1前	2			1						
		微分積分学	1後	2			1						
		電磁気学Ⅰ	1後	2			1						
		統計学の基礎	1後	2					1				
	個別基礎科目	代数学Ⅰ	2前	2					1				
		解析学序論Ⅰ	2前	2					1				
		代数学Ⅱ	2後	2					1				
		解析学序論Ⅱ	2後	2			1						
		電磁気学Ⅱ	2前	2			1						
		量子力学Ⅰ	3前	2			1						
		確率・統計Ⅰ	2後	2					1				
		計算機演習	2前	4					1				
	計算科学基礎演習	2後	2					1					
	選択必修科目	基礎数学演習A	1後		2		1				1		
		基礎数学演習B	1後		2								
		基礎物理学演習	1後		2				1				
		力学Ⅱ	1後		2				1				
	選択科目	微分方程式	2前		2		1						
		ベクトル解析	2後		2		1						
		解析力学	3前		2				1				
		量子力学Ⅱ	3後		2		1						
集合・位相Ⅰ		2前		2				1					
幾何学Ⅰ		3前		2		1							
幾何学Ⅱ		3後		2		1							
熱力学		2後		2		1							

専門 応用 科目	必修 科目	応用計算数学	3前	2			1						
		計算科学応用演習	3前	2			1						
		計算機シミュレーション	3後	2			1						
		科学技術英語	3後	2		10	11		1				
		計算科学特別ゼミA	4前	2		10	11		1				
		計算科学特別ゼミB	4後	2		10	11		1				
		計算科学英語演習A	4前	2		10	11		1				
		計算科学英語演習B	4後	2		10	11		1				
	選択 科目	固体物理学	3後		2			1					
		物理学特別講義	3前		2		5	6		1			
		経済学入門	3前		2							兼1	
		複素解析	3後		2			1					
		確率・統計Ⅱ	3前		2			1					
		最適化理論	3前		2			1					
ゲーム理論		3後		2			1						
離散数学		3後		2					1				
数理経済学		3後		2		2	2						
統計力学		3前		2		1							
相対性理論		3前		2		1							
量子機能創成論		3後		2				1					
情報セキュリティ	3後		2								兼1		
マネ ジメ ント 科目	選択 必修 科目	経営管理論	3前		2							兼1	
		ベンチャービジネス論	3後		2							兼1	
		現代科学史	3前		2							兼1	
		知的財産論	3前		2							兼1	
		技術者倫理	3前		2							兼1	
		企業経営史Ⅰ	3前		2							兼1	
	卒業研究	4通	12			10	11		1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

数理科学コース

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	119	0	134	15	117	0	132	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

物質宇宙物理学コース

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
36	102	0	138	36	100	0	136	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

応用計算科学コース

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 27	科目 109	科目 0	科目 136	科目 27 [0]	科目 107 [Δ2]	科目 0 [0]	科目 134 [Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	グローバルヘルス	2	1後	一般	選択	2年次以上のグローバル科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講。代替措置無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	キャリア形成の発展A	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
2	キャリア形成の発展B	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
3	キャリア形成の発展C	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「グローバルヘルス」は、2年次以上が受講する21世紀教育科目（平成27年度までの入学者を対象とした旧教養教育科目）を優先して開講したため、後期に教員を配置することが出来ず、未開講となった。ただし、選択科目であり、グローバル科目が他にも多数開講されること、平成29年度は開講予定で希望すれば受講出来ることから、学生への影響はない。なお、学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みである。</p> <p>COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施に伴い、キャリア教育科目全体の教育内容を、多様なプログラムを含む、より充実したカリキュラムとするため、「キャリア形成の発展A」、「キャリア形成の発展B」、「キャリア形成の発展C」を廃止し、新たに「キャリア形成の発展」を追加する等の見直しを行った。なお、学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みであることから、影響はない。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

数理科学コース

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

物質宇宙物理学コース

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

応用計算科学コース

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
人文社会科学部									
文化創生課程	4	110	0	110	学士 (人文社会科学)	1.03	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	155	学士 (人文社会科学)	1.05	平成28年度	同上	
人文学部									
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度より 学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
経済経営課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	150	0	585	学士 (教育学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度入学定員増(5人)
養護教諭養成課程	4	20	0	95	学士 (教育学)	1.02	平成12年度	同上	平成28年度入学定員減(△5人)
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部									
医学科	6	112	2年次 20	753	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	
理工学部									
数物科学科	4	78	3年次 2	78	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	190	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員増(6人)
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	65	学士 (理工学)	1.01	平成28年度	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	229	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員減(△3人)
機械科学科	4	80	3年次 2	80	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	30	学士 (理工学)	1.06	平成28年度	同上	
数理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	

知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
農学生命科学部									
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.00	平成20年度	同上	
食料資源学科	4	55	0	55	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	50	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	同上	
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
園芸農学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	
【大学院】									
人文社会科学研究科									
(修士課程)									
文化科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文社会科学)	0.95	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士 (人文社会科学)	0.49	平成11年度	同上	
教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育専攻	2	6	0	12	修士 (教育学)	0.91	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
教科教育専攻	2	23	0	46	修士 (教育学)	1.12	平成6年度	同上	
養護教育専攻	2	3	0	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年度	同上	
医学研究科									
(博士課程)									
医科学専攻	4	60	0	210	博士 (医学)	0.93	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地	平成28年度入学定員増(10人)
保健学研究科									
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	30	0	55	修士 (看護学又は保健学)	1.18	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	平成28年度入学定員増(5人)
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	12	0	30	博士 (保健学)	1.14	平成19年度	同上	平成28年度入学定員増(3人)
理工学研究科									
(博士前期課程)									
理工学専攻	2	120	0	210	修士 (理工学)	1.01	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地	平成28年度入学定員増(30人)
(博士後期課程)									
機能創成科学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	1.00	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)

安全システム工学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	0.88	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)
農学生命科学研究科 (修士課程)									
農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.58	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
地域社会研究科 (博士課程)									
地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.32	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 数物科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
10	11	0	1	22	9	11	0	2	22	10	11	0	1	22
(9)	(12)	(0)	(2)	(23)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<理工学部 数物科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>	
--	--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28年 5月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 大学の位置

〒036-8561

青森県弘前市大字文京町3番地（青森県弘前市大字文京町1番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 物質創成化学科 学士 (理工学)	4 年	52 人	1 3年次 人	210 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	52 (3年次 1) [若干名]		() []		() []		() []		1.00 倍	
志願者数	185 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	124 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	57 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	52 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 52	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[0] (-) 52	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<理工学部 物質創成化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	導入スキル 基礎ゼミナール	1前	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	地域学ゼミナール	1後	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	ローカル科目	青森の行政	1前		2							兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		青森の経済・産業	1前		2							兼3	
		青森の文化	1前		2							兼7 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		青森の歴史	1前		2							兼9 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		青森の芸術 青森の民俗・芸能	1前 1前		2 2							兼7 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		青森の自然	1前		2		1	3 1	2	1		兼25 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		グローバル科目	グローバル社会・経済	1後		2							兼4 兼7
	国際地域		1後		2							兼8 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
比較文化 世界の芸術・芸能	1後 1後			2 2							兼3 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
地球環境	1後			2		1					兼9 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
グローバルヘルス	未開講 1後			2							兼50	2年次以上の授業科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講 (28)	
日本	1後			2							兼8		
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化 青森の食と産業化	2前～4後 2前～4後		2 2		1	1	1			兼22 兼63	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	市民参加と地域づくり	2前～4後		2							兼13 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	青森エクスカージョン	2前～4後		2							兼10 兼15	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	地域プロジェクト演習	2前～4後		2							兼14 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
					2						兼23	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
社会・文化	くらし・文化	1前・後		2							兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	歴史・地理	1前・後		2							兼7 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	思想	1前・後		2							兼4 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	言語学の世界 文学	1前・後 1前・後		2 2							兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	芸術	1前・後		2							兼5 兼17		
	政治経済・社会	1前・後		2							兼22	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	法と社会A	1前・後		2							兼18 兼12	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	法と社会B	1前・後		2							兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	

自然・科学	環境と生活	1前・後	2		3 -4	1 2				兼29 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	工学の世界	1前・後	2		1	2				兼8 兼15	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	農学の世界	1前・後	2							兼6 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	数学の世界	1前・後	2		4					兼2	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	物理学の世界	1前・後	2		2	3		1		兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	化学の世界	1前・後	2		3	3		1		兼8 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	生物学の世界	1前・後	2					1		兼27 兼18	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	情報処理入門A	1前・後	2					4		兼4 兼5	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門B	1前・後	2		2	2 8		4	1	兼7 兼12	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	人間・生命	人間の尊厳	1前・後	2							兼6 兼7
人を育む営み		1前・後	2							兼23 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
心理学の世界		1前・後	2							兼5 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
メンタルヘルス		1前・後	2							兼5 兼14	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
生活と健康		1前・後	2							兼9 兼19	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
運動と健康A		1前・後	2							兼16 兼13	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
運動と健康B		1前・後	2							兼3 兼6	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
医学・医療の世界 情報と健康・医学		1前・後 1前・後	2 2							兼60 兼50	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	1 2							兼4 兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる単位数及び担当教員の変更 (28)
	キャリア形成の発展	2前	3							兼4	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目追加 (28)
	キャリア形成の発展A	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展B	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展C	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリアデザイン	2前~4後	2		1					兼11 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
英語	Listening (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (初級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (中級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (上級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)

		Writing (初級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Writing (中級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Writing (上級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated A (国際共通語としての英語)	2前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 1	2後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 2	3前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated C (キャリア英語)	3前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	多言語	ドイツ語 I	1前	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ドイツ語 II	1後	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ドイツ語 III	2後	2						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 I	1前	4						兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 II	1後	4						兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 III	2前	2						兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ロシア語 I	1前	4						兼1		
		ロシア語 II	1後	4						兼1		
		中国語 I	1前	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		中国語 II	1後	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		朝鮮語 I	1前	4						兼1		
		朝鮮語 II	1後	4						兼1		
専門教育科目	コア基礎科目	理工系の数学A	1前	2					1			
		力学 I	1前	2							兼1	
		電磁気学 I	1後	2							兼1	
	個別基礎科目	有機化学 I	1前	2			↓				兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		無機化学 I	1後	2			1					
		分析化学 I	1後	2			1					
		構造物理化学 I	1後	2				1				
		反応物理化学 I	1後	2			1					
		基礎化学実験	2前	2				7		2		
		地球環境学概論	1前	2							兼6 兼1	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
専門応用科目	必修科目	無機化学 II	2前	2			1					
		無機化学演習	2後	2						1		
		分析化学 II	2前	2			1					
		分析化学演習	2前	2			1					
		無機・分析化学実験	2後	3			3	3		1		
		構造物理化学 II	2前	2						1		
		構造物理化学演習	2後	2				1				
		反応物理化学 II	2前	2			1					
		反応物理化学演習	2後	2				1				
		物理化学実験	3前	2			1	2		1		
		有機化学 II	1後	2			↓				兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		有機化学 III	2前	2			1					
		有機化学 IV	2後	2			1					
		有機化学演習 I	2前	2			1					
有機化学演習 II	2後	2				1						

	有機化学実験	3前	2		3	2				
	フロンティア化学	3前	2			1				
	科学技術英語Ⅰ	3後	2			1				
	科学技術英語Ⅱ	4前	2			1				
選択科目 (A群)	元素化学	2後		2		1				
	有機合成化学	3前		2		1				
	高分子合成化学	3前		2		1				
	錯体化学	3前		2			1			
	有機スペクトル解析学	3前		2			1			
	有機反応化学	3前		2		1				
	生物有機化学	3後		2			1			
	応用無機化学	3後		2			1			
	応用分析化学	3後		2			1			
選択科目 (B群)	応用物理化学	2後		2			1			
	機器分析化学	2後		2			1			
	触媒化学	3前		2		1				
	分離分析化学	3前		2			1			
	エネルギー化学	3前		2		1				
	光化学	3前		2			1			
	分子分光化学	3前		2			1			
	環境化学	3前		2			1			
	機能材料化学	3後		2		1				
	固体化学	3後		2		1				
マネジメント科目	経営管理論	3前		2						兼1
	ベンチャービジネス論	3後		2						兼1
	現代科学史	3前		2						兼1
	知的財産論	3後		2						兼1
	技術者倫理	3後		2						兼1
	企業経営史Ⅰ	4前		2						兼1
	卒業研究	3後	3			7	8		2	
	卒業研究	4通	12			7	8		2	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	104	0	137	33	102	0	135	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	グローバルヘルス	2	1後	一般	選択	2年次以上のグローバル科目を優先したため，教員配置が出来ず未開講。代替措置無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	キャリア形成の発展A	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
2	キャリア形成の発展B	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
3	キャリア形成の発展C	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「グローバルヘルス」は，2年次以上が受講する21世紀教育科目（平成27年度までの入学者を対象とした旧教養教育科目）を優先して開講したため，後期に教員を配置することが出来ず，未開講となった。ただし，選択科目であり，グローバル科目が他にも多数開講されること，平成29年度は開講予定で希望すれば受講出来ることから，学生への影響はない。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みである。</p> <p>COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施に伴い，キャリア教育科目全体の教育内容を，多様なプログラムを含む，より充実したカリキュラムとするため，「キャリア形成の発展A」，「キャリア形成の発展B」，「キャリア形成の発展C」を廃止し，新たに「キャリア形成の発展」を追加する等の見直しを行った。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みであることから，影響はない。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.02
---	---	------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
		冊	種	点	点	点		
		[]	[]	[]	()	()	()	
	([])	([])	([])	()	()	()		
計	[]	[]	[]	()	()	()		
	([])	([])	([])	()	()	()		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
人文社会科学部									
文化創生課程	4	110	0	110	学士 (人文社会科学)	1.03	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	155	学士 (人文社会科学)	1.05	平成28年度	同上	
人文学部									
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度より 学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
経済経営課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	150	0	585	学士 (教育学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度入学定員増(5人)
養護教諭養成課程	4	20	0	95	学士 (教育学)	1.02	平成12年度	同上	平成28年度入学定員減(△5人)
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部									
医学科	6	112	2年次 20	753	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	
理工学部									
数物科学科	4	78	3年次 2	78	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	190	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員増(6人)
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	65	学士 (理工学)	1.01	平成28年度	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	229	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員減(△3人)
機械科学科	4	80	3年次 2	80	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	30	学士 (理工学)	1.06	平成28年度	同上	
数理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	

知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
農学生命科学部									
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.00	平成20年度	同上	
食料資源学科	4	55	0	55	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	50	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	同上	
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
園芸農学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	
【大学院】									
人文社会科学研究科									
(修士課程)									
文化科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文社会科学)	0.95	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士 (人文社会科学)	0.49	平成11年度	同上	
教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育専攻	2	6	0	12	修士 (教育学)	0.91	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
教科教育専攻	2	23	0	46	修士 (教育学)	1.12	平成6年度	同上	
養護教育専攻	2	3	0	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年度	同上	
医学研究科									
(博士課程)									
医科学専攻	4	60	0	210	博士 (医学)	0.93	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地	平成28年度入学定員増(10人)
保健学研究科									
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	30	0	55	修士 (看護学又は保健学)	1.18	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	平成28年度入学定員増(5人)
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	12	0	30	博士 (保健学)	1.14	平成19年度	同上	平成28年度入学定員増(3人)
理工学研究科									
(博士前期課程)									
理工学専攻	2	120	0	210	修士 (理工学)	1.01	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地	平成28年度入学定員増(30人)
(博士後期課程)									
機能創成科学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	1.00	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)

安全システム工学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	0.88	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)
農学生命科学研究科 (修士課程)									
農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.58	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
地域社会研究科 (博士課程)									
地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.32	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 物質創成化学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、**本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
7	8	0	2	17	5	6	0	2	13	7	8	0	2	17
(5)	(6)	(0)	(2)	(13)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<理工学部 物質創成化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>	
--	--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - b 公表方法
- ③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28年 5月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 大学の位置

〒036-8561

青森県弘前市大字文京町3番地（青森県弘前市大字文京町1番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 地球環境防災学科 学士 (理工学)	4年	65人	2人 3年次人	264人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (3年次 2) [若干名]		() []		() []		() []		1.01 倍	
志願者数	210 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	148 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	68 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	66 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.01									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 66	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[1] (-) 66	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	66 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	66 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 地球環境防災学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	導入スキルデイ 基礎ゼミナール	1前	2			38 33	40 35	3	14 12		教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	地域学ゼミナール	1後	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
ローカル科目	青森の行政	1前	2								兼2 兼4 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の経済・産業	1前	2								兼3
	青森の文化	1前	2								兼7 兼9 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の歴史	1前	2								兼9 兼5 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森の芸術	1前	2								兼7 兼5 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森の民俗・芸能	1前	2								兼3
	青森の自然	1前	2			1	3 1	2	1		兼25 兼14 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
グローバル科目	グローバル社会・経済	1後	2								兼4 兼7 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	国際地域	1後	2								兼8 兼6 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	比較文化	1後	2								兼3 兼9 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	世界の芸術・芸能	1後	2								兼6
	地球環境	1後	2			1					兼9 兼4 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	グローバルヘルス 日本	1後 1後	2 2								兼50 兼8 2年次以上の授業科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講 (28)
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化	2前~4後	2			1	1	1			兼22 兼63 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の食と産業化	2前~4後	2								兼13
	市民参加と地域づくり	2前~4後	2								兼14 兼10 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森エクスカージョン	2前~4後	2								兼15 兼14 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	地域プロジェクト演習	2前~4後	2								兼17 兼23 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
社会・文化	くらし・文化	1前・後	2								兼3 兼2 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	歴史・地理	1前・後	2								兼7 兼6 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	思想	1前・後	2								兼4 兼2 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	言語学の世界	1前・後	2								兼3 兼2 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	文学	1前・後	2								兼5
	芸術	1前・後	2								兼17 兼22 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	政治経済・社会	1前・後	2								兼18 兼12 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	法と社会 A	1前・後	2								兼2 兼4 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
法と社会 B	1前・後	2								兼2 兼4 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
自由					3	1					兼29

然・科学	環境と生活	1前・後	2		-4	2				兼11 兼8 兼15	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28) 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	工学の世界	1前・後	2		1	2				兼6 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	農学の世界	1前・後	2							兼2	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	数学の世界	1前・後	2		1					兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	物理学の世界	1前・後	2		2	3		1		兼8 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	化学の世界	1前・後	2		3	3		1		兼27 兼18	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	生物学の世界	1前・後	2					1		兼4 兼5	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門A	1前・後	2					4		兼7 兼12	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門B	1前・後	2		2	8		1			教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
人間・生命	人間の尊厳	1前・後	2							兼6 兼7	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	人を育む営み	1前・後	2							兼23 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	心理学の世界	1前・後	2							兼5 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	メンタルヘルス	1前・後	2							兼5 兼14	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	生活と健康	1前・後	2							兼9 兼19	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	運動と健康A	1前・後	2							兼16 兼13	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	運動と健康B	1前・後	2							兼3 兼6	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	医学・医療の世界	1前・後	2							兼60 兼50	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
情報と健康・医学	1前・後	2							兼3		
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	1 2							兼4 兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる単位数及び担当教員の変更 (28)
	キャリア形成の発展	2前	3							兼4	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目追加 (28)
	キャリア形成の発展A	3前	2							兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展B	3前	2							兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展C	3前	2							兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリアデザイン	2前~4後	2		1					兼11 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
英語	Listening (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (初級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (中級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (上級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Writing (初級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)

		Writing (中級)	1後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Writing (上級)	1後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated A (国際共通語としての英語)	2前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 1	2後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 2	3前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated C (キャリア英語)	3前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
多 言 語		ドイツ語 I	1前	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ドイツ語 II	1後	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ドイツ語 III	2後	2								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 I	1前	4								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 II	1後	4								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 III	2前	2								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ロシア語 I	1前	4								兼1		
		ロシア語 II	1後	4								兼1		
		中国語 I	1前	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		中国語 II	1後	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	朝鮮語 I	1前	4								兼1			
	朝鮮語 II	1後	4								兼1			
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	コ ア 基 礎 科 目	理工系の数学A	1前	2			1						
			理工系の数学B	1前	2			1						
			力学 I	1前	2						1			
			電磁気学 I	1後	2		1	1						
			化学概論	1前	2									兼1
	個 別 基 礎 科 目	必 修 科 目	理工系の数学C	2前	2			1						
			力学 II	2前	2				1					
			地球熱力学	2前	2			1	1					
			地質学 I	1後	2						2			
			コンピュータ演習	2後	2					1				
選 択 必 修 科 目	必 修 科 目	基礎物理学実験	2前		2			2						
		基礎化学実験	2前		2		1							
専 門 応 用 科 目	必 修 科 目	地球環境学概論	1前	2			2 -4	1 2		1 +		3		教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		自然災害学概論	1後	2			2 3	1 3		2 +				教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		天文学	2後	2			1							
		気候システム学	2後	2			1							
		固体地球物理学	2後	2			1							
		地質学 II	2前	2			1							
		環境地球化学 I	2後	2			1							
		岩石・鉱物学 I	2前	2			1							
		空間情報学	2前	2			1							
		自然防災学	2後	2			3				1			
地球環境防災学総合演習	3前	2			7	5			2		3			
科学技術英語	3前	2			7	5			2		3			
選 択 必 修 科 目	選 択 必 修 科 目	地質調査法実習	3前		2		2			2		1		
		地球環境学演習 I	3後		2		4	2		1		3		

修 科 目	地球環境学演習Ⅱ	4前		2		4	2	1	3		
	地球環境学演習Ⅲ	4後		2		4	2	1	3		
	自然防災学演習Ⅰ	3後		2		3	3	1			
	自然防災学演習Ⅱ	4前		2		3	3	1			
	自然防災学演習Ⅲ	4後		2		3	3	1			
選 択 科 目	地球流体力学	2後		2				1			
	気象学Ⅰ	2後		2				1			
	地震学Ⅰ	2後		2		1					
	層位学・古生物学	2後		2					1	1	
	地質学演習	2後		2		1			2	1	
	建設構造学	2後		2				1			
	放射線計測学	2後		2				1			
	原子核物理学	3後		2				1			
	応用物理学実験	3前		2		1	1			1	
	空間情報学演習	3前		2				1			
	気象学演習	3後		2				1		1	
	気象学Ⅱ	3前		2		1				1	
	環境地球化学Ⅱ	3後		2		1					
	環境地球化学実験	3後		2		1					
	地震学Ⅱ	3前		2		1	1				
	地震学演習	3後		2		1					
	岩石・鉱物学Ⅱ	3前		2					1		
	岩石・鉱物学実験	3後		2		1			1	1	
	構造力学	3前		2				1			
	土質力学	3前		2				1			
	相対性理論	3前		2						1	
	宇宙物理学	3後		2						1	
	資源地質学	3前		2		1					
	応用地質学実習	3前		2		1			2	1	
	地震工学	3後		2		1					
	地震防災学	3後		2		2	1				
火山防災学	3後		2		1			1			
防災気象学	3前		2		1						
防災地質学	3前		2		1						
マ ネ ジ メ ン ト 科 目	経営管理論	4前		2							兼1
	ベンチャービジネス論	4後		2							兼1
	現代科学史	3後		2							兼1
	知的財産論	3前		2							兼1
	技術者倫理	3後		2							兼1
	企業経営史Ⅰ	4前		2							兼1
	卒業研究	4通	12			7	5	2	3		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 26	科目 122	科目 0	科目 148	科目 26 [0]	科目 120 [Δ2]	科目 0 [0]	科目 146 [Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	グローバルヘルス	2	1後	一般	選択	2年次以上のグローバル科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講。代替措置無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	キャリア形成の発展A	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
2	キャリア形成の発展B	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
3	キャリア形成の発展C	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「グローバルヘルス」は、2年次以上が受講する21世紀教育科目（平成27年度までの入学者を対象とした旧教養教育科目）を優先して開講したため、後期に教員を配置することが出来ず、未開講となった。ただし、選択科目であり、グローバル科目が他にも多数開講されること、平成29年度は開講予定で希望すれば受講出来ることから、学生への影響はない。なお、学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みである。

COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施に伴い、キャリア教育科目全体の教育内容を、多様なプログラムを含む、より充実したカリキュラムとするため、「キャリア形成の発展A」、「キャリア形成の発展B」、「キャリア形成の発展C」を廃止し、新たに「キャリア形成の発展」を追加する等の見直しを行った。なお、学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みであることから、影響はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
		冊	種	点	点	点		
		[]	[]	[]	()	()	()	
		([])	([])	([])	()	()	()	
	計	[]	[]	[]	()	()	()	
		([])	([])	([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
人文社会科学部									
文化創生課程	4	110	0	110	学士 (人文社会科学)	1.03	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	155	学士 (人文社会科学)	1.05	平成28年度	同上	
人文学部									
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度より 学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
経済経営課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	150	0	585	学士 (教育学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度入学定員増(5人)
養護教諭養成課程	4	20	0	95	学士 (教育学)	1.02	平成12年度	同上	平成28年度入学定員減(△5人)
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部									
医学科	6	112	2年次 20	753	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	
理工学部									
数物科学科	4	78	3年次 2	78	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	190	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員増(6人)
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	65	学士 (理工学)	1.01	平成28年度	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	229	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員減(△3人)
機械科学科	4	80	3年次 2	80	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	30	学士 (理工学)	1.06	平成28年度	同上	
数理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	

知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
農学生命科学部									
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.00	平成20年度	同上	
食料資源学科	4	55	0	55	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	50	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	同上	
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
園芸農学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	
【大学院】									
人文社会科学研究科 (修士課程)									
文化科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文社会科学)	0.95	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士 (人文社会科学)	0.49	平成11年度	同上	
教育学研究科 (修士課程)									
学校教育専攻	2	6	0	12	修士 (教育学)	0.91	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
教科教育専攻	2	23	0	46	修士 (教育学)	1.12	平成6年度	同上	
養護教育専攻	2	3	0	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年度	同上	
医学研究科 (博士課程)									
医科学専攻	4	60	0	210	博士 (医学)	0.93	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地	平成28年度入学定員増(10人)
保健学研究科 (博士前期課程)									
保健学専攻	2	30	0	55	修士 (看護学又は保健学)	1.18	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	平成28年度入学定員増(5人)
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	12	0	30	博士 (保健学)	1.14	平成19年度	同上	平成28年度入学定員増(3人)
理工学研究科 (博士前期課程)									
理工学専攻	2	120	0	210	修士 (理工学)	1.01	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地	平成28年度入学定員増(30人)
(博士後期課程)									
機能創成科学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	1.00	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)

安全システム工学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	0.88	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)
農学生命科学研究科 (修士課程)									
農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.58	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
地域社会研究科 (博士課程)									
地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.32	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 地球環境防災学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
7	5	2	3	17	7	5	2	3	17	7	5	2	3	17
(7)	(5)	(2)	(3)	(17)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

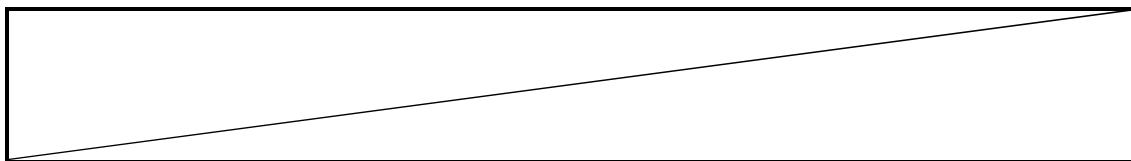
上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」



(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<理工学部 地球環境防災学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28年 5月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 大学の位置

〒036-8561

青森県弘前市大字文京町3番地（青森県弘前市大字文京町1番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 電子情報工学科 学士 (理工学)	4 年	55 人	2 3年次 人	224 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 (3年次 2) [若干名]		() []		() []		() []		1.01 倍	
志願者数	151 (-) [5]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	120 (-) [4]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	63 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	56 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.01									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 56	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[0] (-) 56	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	56 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	56 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 電子情報工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	導入スキル 基礎ゼミナール	1前	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	地域学ゼミナール	1後	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	ローカル科目	青森の行政	1前		2							兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		青森の経済・産業	1前		2							兼3	
		青森の文化	1前		2							兼7 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		青森の歴史	1前		2							兼9 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		青森の芸術 青森の民俗・芸能	1前 1前		2 2							兼7 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		青森の自然	1前		2		1	3 1	2	1		兼25 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		グローバル科目	グローバル社会・経済	1後		2							兼4 兼7
	国際地域		1後		2							兼8 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
比較文化 世界の芸術・芸能	1後 1後			2 2							兼3 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
地球環境	1後			2		1					兼9 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
グローバルヘルス	未開講 1後			2							兼50	2年次以上の授業科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講 (28)	
日本	1後			2							兼8		
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化 青森の食と産業化	2前～4後 2前～4後		2 2		1	1	1			兼22 兼63	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	市民参加と地域づくり	2前～4後		2							兼13 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	青森エクスカージョン	2前～4後		2							兼10 兼15	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	地域プロジェクト演習	2前～4後		2							兼14 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
					2						兼23	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
社会・文化	くらし・文化	1前・後		2							兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	歴史・地理	1前・後		2							兼7 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	思想	1前・後		2							兼4 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	言語学の世界 文学	1前・後 1前・後		2 2							兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	芸術	1前・後		2							兼5 兼17		
	政治経済・社会	1前・後		2							兼22	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	法と社会A	1前・後		2							兼18 兼12	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	法と社会B	1前・後		2							兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	

自然・科学	環境と生活	1前・後	2		3 -4	1 2				兼29 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	工学の世界	1前・後	2		1	2				兼8 兼15	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	農学の世界	1前・後	2							兼6 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	数学の世界	1前・後	2		4					兼2	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	物理学の世界	1前・後	2		2	3		1		兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	化学の世界	1前・後	2		3	3		1		兼8 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	生物学の世界	1前・後	2					1		兼27 兼18	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	情報処理入門A	1前・後	2					4		兼4 兼5	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門B	1前・後	2		2	2 8		4	1	兼7 兼12	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	人間・生命	人間の尊厳	1前・後	2							兼6 兼7
人を育む営み		1前・後	2							兼23 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
心理学の世界		1前・後	2							兼5 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
メンタルヘルス		1前・後	2							兼5 兼14	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
生活と健康		1前・後	2							兼9 兼19	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
運動と健康A		1前・後	2							兼16 兼13	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
運動と健康B		1前・後	2							兼3 兼6	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
医学・医療の世界 情報と健康・医学		1前・後 1前・後	2 2							兼60 兼50	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	1 2							兼4 兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる単位数及び担当教員の変更 (28)
	キャリア形成の発展	2前	3							兼4	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目追加 (28)
	キャリア形成の発展A	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展B	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展C	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリアデザイン	2前~4後	2		1					兼11 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
英語	Listening (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (初級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (中級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (上級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)

		Writing (初級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Writing (中級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Writing (上級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated A (国際共通語としての英語)	2前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 1	2後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 2	3前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated C (キャリア英語)	3前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	多言語	ドイツ語 I	1前	4							兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ドイツ語 II	1後	4							兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ドイツ語 III	2後	2							兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 I	1前	4							兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 II	1後	4							兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 III	2前	2							兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ロシア語 I	1前	4							兼1	
		ロシア語 II	1後	4							兼1	
		中国語 I	1前	4							兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		中国語 II	1後	4							兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		朝鮮語 I	1前	4							兼1	
		朝鮮語 II	1後	4							兼1	
専門教育科目	コア基礎科目	理工系の数学A	1前	2					1			
		理工系の数学B	1前	2		1						
		微分積分学	1後	2			1					
		力学 I	1前	2		1						
		電磁気学 I	1後	2		1						
		化学概論	1後	2			1					
		統計学の基礎	1後	2		1						
	個別基礎科目	コンピュータ基礎演習	1前	2			1					
		プログラミング演習 I	1後	2		1						
		コンピュータ基礎	1前	2			1					
		電子情報工学概論	1前	2		7	6	1		1 2		教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		応用数学I	1後	2		1						
		プログラミング基礎	1後	2		1						
		応用数学 II	2前	2			1					
		電磁気学 II	2前	2			1					
		電磁気学 III	2後	2		1						
専門応用科目	必修科目	組込みシステム基礎	2前	2					1			
		組込みシステム基礎演習	2後	2		1						
		電子情報工学実験 I	2前	2		1	2	1				
		電気回路演習	2前	2					1			
		電気回路	2前	2		1						
		アルゴリズム	2前	2			1					
		プログラミング演習 II	2前	2		1						
		電子情報工学実験 II	2後	2		3			1			
		電子回路	2後	2		1						

	電子回路演習	2後	2			1					
	量子・デバイス工学基礎	2後	2			1					
	コンピュータアーキテクチャ	2後	2				1				
	コンピューティング	2後	2			1					
	プログラミング演習Ⅲ	2後	2				1				
	電子情報工学最先端	3前	2			7	6	1	2		
	電子情報工学実験Ⅲ	3前	2			2	2				
	科学技術英語	3後	2			7	6	1	2		
	電子情報工学演習A	3後	2			7	6	1	2		
	電子情報工学演習B	3後	2			7	6	1	2		
	電子情報工学実験Ⅳ	3後	2			1	2		1		
選択必修科目	組込みシステム応用	3前		2		1					
	オペレーティングシステム	3前		2			1				
	電気・電子計測	3前		2		1					
	電子物性・材料Ⅰ	3前		2			1				
	画像処理	3前		2		1					
	通信工学	3前		2		1					
	電気回路応用	3前		2		1					
	組込みシステム実践演習	3後		2		1					
	電子制御工学	3後		2		1					
	情報セキュリティ	3後		2			1				
	電子物性・材料Ⅱ	3後		2			1				
	生体生命情報学	3後		2			1				
	グリーン材料・デバイス工学	3後		2		2			1		
	ICT実践演習	3後		2		1	1				
科目選択	情報と職業	3後		2				1			
マネジメント科目	経営管理論	3前		2							兼1
	ベンチャービジネス論	3後		2							兼1
	現代科学史	4前		2							兼1
	知的財産論	4前		2							兼1
	技術者倫理	4前		2							兼1
	企業経営史Ⅰ	4前		2							兼1
	卒業研究	4通	12			7	6	1	2		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
40	99	0	139	40	97	0	137	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	グローバルヘルス	2	1後	一般	選択	2年次以上のグローバル科目を優先したため，教員配置が出来ず未開講。代替措置無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	キャリア形成の発展A	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
2	キャリア形成の発展B	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
3	キャリア形成の発展C	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「グローバルヘルス」は，2年次以上が受講する21世紀教育科目（平成27年度までの入学者を対象とした旧教養教育科目）を優先して開講したため，後期に教員を配置することが出来ず，未開講となった。ただし，選択科目であり，グローバル科目が他にも多数開講されること，平成29年度は開講予定で希望すれば受講出来ることから，学生への影響はない。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みである。</p> <p>COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施に伴い，キャリア教育科目全体の教育内容を，多様なプログラムを含む，より充実したカリキュラムとするため，「キャリア形成の発展A」，「キャリア形成の発展B」，「キャリア形成の発展C」を廃止し，新たに「キャリア形成の発展」を追加する等の見直しを行った。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みであることから，影響はない。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種				電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点
		[]	[]	[]	()	()	()	
	([])	([])	([])	()	()	()		
計	[]	[]	[]	()	()	()		
([])	([])	([])	()	()	()			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
人文社会科学部									
文化創生課程	4	110	0	110	学士 (人文社会科学)	1.03	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	155	学士 (人文社会科学)	1.05	平成28年度	同上	
人文学部									
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度より 学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
経済経営課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	150	0	585	学士 (教育学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度入学定員増(5人)
養護教諭養成課程	4	20	0	95	学士 (教育学)	1.02	平成12年度	同上	平成28年度入学定員減(△5人)
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部									
医学科	6	112	2年次 20	753	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	
理工学部									
数物科学科	4	78	3年次 2	78	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	190	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員増(6人)
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	65	学士 (理工学)	1.01	平成28年度	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	229	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員減(△3人)
機械科学科	4	80	3年次 2	80	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	30	学士 (理工学)	1.06	平成28年度	同上	
数理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	

知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
農学生命科学部									
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.00	平成20年度	同上	
食料資源学科	4	55	0	55	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	50	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	同上	
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
園芸農学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	
【大学院】									
人文社会科学研究科									
(修士課程)									
文化科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文社会科学)	0.95	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士 (人文社会科学)	0.49	平成11年度	同上	
教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育専攻	2	6	0	12	修士 (教育学)	0.91	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
教科教育専攻	2	23	0	46	修士 (教育学)	1.12	平成6年度	同上	
養護教育専攻	2	3	0	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年度	同上	
医学研究科									
(博士課程)									
医科学専攻	4	60	0	210	博士 (医学)	0.93	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地	平成28年度入学定員増(10人)
保健学研究科									
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	30	0	55	修士 (看護学又は保健学)	1.18	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	平成28年度入学定員増(5人)
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	12	0	30	博士 (保健学)	1.14	平成19年度	同上	平成28年度入学定員増(3人)
理工学研究科									
(博士前期課程)									
理工学専攻	2	120	0	210	修士 (理工学)	1.01	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地	平成28年度入学定員増(30人)
(博士後期課程)									
機能創成科学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	1.00	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)

安全システム工学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	0.88	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)
農学生命科学研究科 (修士課程)									
農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.58	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
地域社会研究科 (博士課程)									
地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.32	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 電子情報工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
										/

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
7	6	1	2	16	7	6	1	1	15	7	6	1	2	16
(7)	(6)	(1)	(1)	(15)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

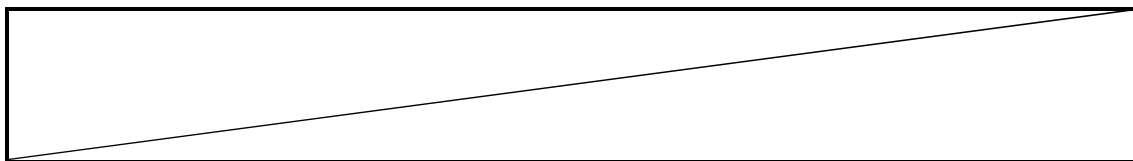
上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」



(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<理工学部 電子情報工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>	
--	--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - b 公表方法
- ③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28年 5月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 大学の位置

〒036-8561

青森県弘前市大字文京町3番地（青森県弘前市大字文京町1番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 機械科学科 学士 (理工学)	4年	80人	2人 3年次	324人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (3年次 2) [若干名]		() []		() []		() []		1.02 倍	
志願者数	216 (-) [9]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	152 (-) [5]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	89 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	82 (-) [2]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで** 記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 81	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[1] (-) 81	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	82 人	1 人	平成28年度	1 人	1 人	他の教育機関への入学(1名)	0.0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	82 人	1 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 機械科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	導入スキルデイ 基礎ゼミナール	1前	2			38 33	40 35	3	14 12		教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	地域学ゼミナール	1後	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
ローカル科目	青森の行政	1前	2								兼2 兼4 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の経済・産業	1前	2								兼3
	青森の文化	1前	2								兼7 兼9 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の歴史	1前	2								兼9 兼5 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森の芸術	1前	2								兼7 兼5 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森の民俗・芸能	1前	2								兼3
	青森の自然	1前	2			1	3 1	2	1		兼25 兼14 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
グローバル科目	グローバル社会・経済	1後	2								兼4 兼7 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	国際地域	1後	2								兼8 兼6 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	比較文化	1後	2								兼3 兼9 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	世界の芸術・芸能	1後	2								兼6
	地球環境	1後	2			1					兼9 兼4 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	グローバルヘルス 日本	未開講 1後 1後	2 2								兼50 兼8 2年次以上の授業科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講 (28)
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化	2前~4後	2			1	1	1			兼22 兼63 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	青森の食と産業化	2前~4後	2								兼13
	市民参加と地域づくり	2前~4後	2								兼14 兼10 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	青森エクスカージョン	2前~4後	2								兼15 兼14 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	地域プロジェクト演習	2前~4後	2								兼17 兼23 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
社会・文化	くらし・文化	1前・後	2								兼3 兼2 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	歴史・地理	1前・後	2								兼7 兼6 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	思想	1前・後	2								兼4 兼2 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	言語学の世界	1前・後	2								兼3 兼2 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	文学	1前・後	2								兼5
	芸術	1前・後	2								兼17 兼22 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	政治経済・社会	1前・後	2								兼18 兼12 教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	法と社会 A	1前・後	2								兼2 兼4 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
法と社会 B	1前・後	2								兼2 兼4 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
自由						3	1				兼29

然・科学	環境と生活	1前・後	2	-4	2				兼11 兼8 兼15	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28) 教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	工学の世界	1前・後	2	1	2				兼6 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	農学の世界	1前・後	2						兼2	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	数学の世界	1前・後	2	1					兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	物理学の世界	1前・後	2	2	3		1		兼8 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	化学の世界	1前・後	2	3	3		1		兼27 兼18	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	生物学の世界	1前・後	2				1		兼4 兼5	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門A	1前・後	2				4		兼7 兼12	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門B	1前・後	2	2	8	1	1			教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
人間・生命	人間の尊厳	1前・後	2						兼6 兼7	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	人を育む営み	1前・後	2						兼23 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	心理学の世界	1前・後	2						兼5 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	メンタルヘルス	1前・後	2						兼5 兼14	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	生活と健康	1前・後	2						兼9 兼19	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	運動と健康A	1前・後	2						兼16 兼13	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	運動と健康B	1前・後	2						兼3 兼6	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	医学・医療の世界 情報と健康・医学	1前・後 1前・後	2 2						兼60 兼50 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	1 2						兼4 兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる単位数及び担当教員の変更 (28)
	キャリア形成の発展	2前	3						兼4	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目追加 (28)
	キャリア形成の発展A	3前	2						兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展B	3前	2						兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展C	3前	2						兼3	200+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリアデザイン	2前~4後	2		1				兼11 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
英語	Listening (初級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (中級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (上級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (初級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (中級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (上級)	1前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (初級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (中級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (上級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Writing (初級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)

		Writing (中級)	1後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Writing (上級)	1後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated A (国際共通語としての英語)	2前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 1	2後	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 2	3前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		Integrated C (キャリア英語)	3前	2								兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	多言語	ドイツ語 I	1前	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ドイツ語 II	1後	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ドイツ語 III	2後	2								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 I	1前	4								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 II	1後	4								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		フランス語 III	2前	2								兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		ロシア語 I	1前	4								兼1		
		ロシア語 II	1後	4								兼1		
		中国語 I	1前	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		中国語 II	1後	4								兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
		朝鮮語 I	1前	4								兼1		
		朝鮮語 II	1後	4								兼1		
専門教育科目 (知能システムコース)	コア基礎科目	理工系の数学A	1前	2		1								
		理工系の数学B	1前	2			1							
		力学 I	1前	2			1							
		電磁気学 I	1後	2		1							兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		統計学の基礎	1後	2		1								
		微分積分学	2前	2		1								
	個別基礎科目	機械科学プログラミング	1後	2		1	1		2	4				教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		基礎物理学実験	1後	2			1		2	4				教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		工業数学 I	2前	2		1								
		物理学演習	2前	2					2					
		工業数学 II	2後	2			1							
	選択必修科目	化学の基礎	1前	2									兼1	
		生物学の基礎A	1前	2									兼2 兼1	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	選択科目	応用数学 I	2前	2		1								
		計算機プログラミング	2前	2				1						
電気回路		2前	2				1							
応用数学 II		2後	2				1							
電子回路		2後	2		1									
専門応用科目	必修科目													
	機械科学概論	1前	2		9	9						兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	機械材料工学	1後	2		1									
	機械製図基礎	1後	2			1		1						
	工業熱力学 I	2前	2		1									
流体力学 I	2前	2		1										

		機械要素学	2前	2		1							
		機械科学実験	2前	2		9	9		8				
		機械科学基礎演習A	2前	2					2				
		機械加工学	2後	2			1						
		材料力学Ⅰ	2後	2		1							
		機械力学Ⅰ	2後	2			1						
		機械科学設計	2後	2					4				
		機械科学基礎演習B	2後	2					2				
		制御工学Ⅰ	3前	2		1							
		創造実習	3前	2					2				
		知能科学実験	3前	2		6	6		6				
		知能科学設計	3後	2					2				
		科学技術英語	3後	2		9	9						
	選択必修科目	工業熱力学Ⅱ	2後		2	1							
		流体力学Ⅱ	2後		2	1							
		材料力学Ⅱ	3前		2		1						
		機械力学Ⅱ	3前		2		1						
		計測工学	3前		2	1							
		メカトロニクス	3前		2		1						
		伝熱工学Ⅰ	3前		2		1						
		材料強度学	3後		2	1							
		制御工学Ⅱ	3後		2		1						
	選択科目	応用力学	2後		2	1							
		マイクロ・ナノマシニング	2後		2		1						
		生体情報工学	2後		2		1						
		人間医工学	3前		2	1							
		生体材料工学	3前		2	1							
		信号・画像処理工学	3前		2		1						
		生体機械工学	3前		2	1							
		伝熱工学Ⅱ	3後		2		1						
		計算力学	3後		2		1						
		ロボット工学	3後		2		1						
		医用光工学	3後		2		1						
		生体組織工学	3後		2	1							
		生産システム工学	4前		2	1							
		信頼性工学	4前		2		1						
	科目必修	技術者倫理	3前		2	1	1						
	マネジメント科目	経営管理論	4前		2							兼1	
		現代科学史	4前		2							兼1	
		知的財産論	4前		2							兼1	
		企業経営史Ⅰ	4前		2							兼1	
		ベンチャービジネス論	4後		2							兼1	
		卒業研究	4通	12		9	9						
専門教育科目(医用システムコース)	コア基礎科目	理工系の数学A	1前	2		1							
		理工系の数学B	1前	2			1						
		力学Ⅰ	1前	2			1						
		電磁気学Ⅰ	1後	2		+						兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更(28)
		統計学の基礎	1後	2		1							
		微分積分学	2前	2		1							
	個別基礎科目	機械科学プログラミング	1後	2		1	1			2			教育内容充実のため、担当教員の追加(28)
		基礎物理学実験	1後	2			1			2			教育効果充実のため、担当教員の変更(28)
		工業数学Ⅰ	2前	2		1							
		物理学演習	2前	2						2			

		工業数学Ⅱ	2後	2			1						
		工業数学演習	2後	2					2				
	選択必修科目	化学の基礎	1前		2							兼1	
		生物学の基礎A	1前		2							兼2	
												兼1	教育内容充実のため、担当教員の追加(28)
	選択科目	応用数学Ⅰ	2前		2		1						
		計算機プログラミング	2前		2		1						
		電気回路	2前		2		1						
		応用数学Ⅱ	2後		2		1						
		電子回路	2後		2		1						
専門応用科目	必修科目	機械科学概論	1前	2			9	9				兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更(28)
		機械材料工学	1後	2			1						
		機械製図基礎	1後	2				1		1			
		工業熱力学Ⅰ	2前	2			1						
		流体力学Ⅰ	2前	2			1						
		機械要素学	2前	2			1						
		機械科学実験	2前	2			9	9		8			
		機械科学基礎演習A	2前	2						2			
		機械加工学	2後	2				1					
		材料力学Ⅰ	2後	2			1						
		機械力学Ⅰ	2後	2				1					
		機械科学設計	2後	2						4			
		機械科学基礎演習B	2後	2						2			
		生体機械工学	3前	2			1						
		創造実習	3前	2						2			
		医用科学実験	3前	2			3	3		2			
		医用科学設計	3後	2						2			
		科学技術英語	3後	2			9	9					
	選択必修科目	マイクロ・ナノマシニング	2後		2			1					
		生体情報工学	2後		2			1					
		人間医工学	3前		2		1						
		生体材料工学	3前		2		1						
		信号・画像処理工学	3前		2			1					
		制御工学Ⅰ	3前		2		1						
		伝熱工学Ⅰ	3前		2			1					
		医用光工学	3後		2			1					
		生体組織工学	3後		2		1						
	選択科目	応用力学	2後		2		1						
		工業熱力学Ⅱ	2後		2		1						
		流体力学Ⅱ	2後		2		1						
		材料力学Ⅱ	3前		2			1					
		機械力学Ⅱ	3前		2			1					
		計測工学	3前		2		1						
		メカトロニクス	3前		2			1					
		伝熱工学Ⅱ	3後		2			1					
		計算力学	3後		2			1					
		ロボット工学	3後		2			1					
		材料強度学	3後		2		1						
		制御工学Ⅱ	3後		2			1					
		生産システム工学	4前		2		1						
		信頼性工学	4前		2			1					
マネジメン	科目必修	技術者倫理	3前	2			1	1					
	選択必修	経営管理論	4前		2							兼1	
		現代科学史	4前		2							兼1	

ノ ト 科 目	修 科 目	知的財産論	4前		2							兼1
		企業経営史 I	4前		2							兼1
		ベンチャービジネス論	4後		2							兼1
	卒業研究	4通	12				9	9				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

知能システムコース

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	113	0	148	35	111	0	146	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

医用システムコース

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	113	0	148	35	111	0	146	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	グローバルヘルス	2	1後	一般	選択	2年次以上のグローバル科目を優先したため，教員配置が出来ず未開講。代替措置無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	キャリア形成の発展A	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
2	キャリア形成の発展B	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
3	キャリア形成の発展C	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「グローバルヘルス」は，2年次以上が受講する21世紀教育科目（平成27年度までの入学者を対象とした旧教養教育科目）を優先して開講したため，後期に教員を配置することが出来ず，未開講となった。ただし，選択科目であり，グローバル科目が他にも多数開講されること，平成29年度は開講予定で希望すれば受講出来ることから，学生への影響はない。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みである。</p> <p>COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施に伴い，キャリア教育科目全体の教育内容を，多様なプログラムを含む，より充実したカリキュラムとするため，「キャリア形成の発展A」，「キャリア形成の発展B」，「キャリア形成の発展C」を廃止し，新たに「キャリア形成の発展」を追加する等の見直しを行った。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みであることから，影響はない。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

知能システムコース

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

医用システムコース

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種					[うち外国書] 点
		([]) ([])	([]) ([])	([]) ([])	() ()	() ()	() ()	
計	([]) ([])	([]) ([])	([]) ([])	() ()	() ()	() ()		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
人文社会科学部									
文化創生課程	4	110	0	110	学士 (人文社会科学)	1.03	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	155	学士 (人文社会科学)	1.05	平成28年度	同上	
人文学部									
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度より 学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
経済経営課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	150	0	585	学士 (教育学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度入学定員増(5人)
養護教諭養成課程	4	20	0	95	学士 (教育学)	1.02	平成12年度	同上	平成28年度入学定員減(△5人)
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部									
医学科	6	112	2年次 20	753	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	
理工学部									
数物科学科	4	78	3年次 2	78	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	190	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員増(6人)
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	65	学士 (理工学)	1.01	平成28年度	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	229	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員減(△3人)
機械科学科	4	80	3年次 2	80	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	30	学士 (理工学)	1.06	平成28年度	同上	
数理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	

知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
農学生命科学部									
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.00	平成20年度	同上	
食料資源学科	4	55	0	55	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	50	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	同上	
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
園芸農学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	
【大学院】									
人文社会科学研究科									
(修士課程)									
文化科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文社会科学)	0.95	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士 (人文社会科学)	0.49	平成11年度	同上	
教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育専攻	2	6	0	12	修士 (教育学)	0.91	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
教科教育専攻	2	23	0	46	修士 (教育学)	1.12	平成6年度	同上	
養護教育専攻	2	3	0	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年度	同上	
医学研究科									
(博士課程)									
医科学専攻	4	60	0	210	博士 (医学)	0.93	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地	平成28年度入学定員増(10人)
保健学研究科									
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	30	0	55	修士 (看護学又は保健学)	1.18	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	平成28年度入学定員増(5人)
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	12	0	30	博士 (保健学)	1.14	平成19年度	同上	平成28年度入学定員増(3人)
理工学研究科									
(博士前期課程)									
理工学専攻	2	120	0	210	修士 (理工学)	1.01	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地	平成28年度入学定員増(30人)
(博士後期課程)									
機能創成科学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	1.00	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)

安全システム工学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	0.88	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)
農学生命科学研究科 (修士課程)									
農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.58	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
地域社会研究科 (博士課程)									
地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.32	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 機械科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	9	0	8	26	6	9	0	5	20	9	9	0	8	26
(6)	(9)	(0)	(5)	(20)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

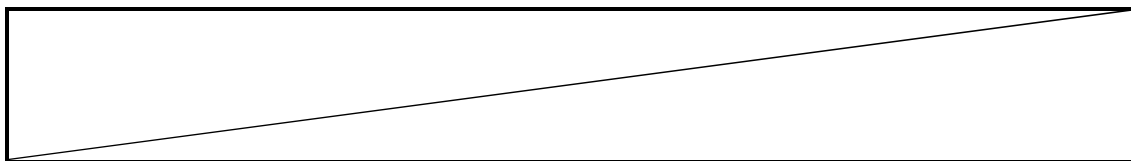
上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」



(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<理工学部 機械科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(28年 5月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 弘前大学

(2) 大学名

弘前大学

(3) 大学の位置

〒036-8561

青森県弘前市大字文京町3番地（青森県弘前市大字文京町1番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 自然エネルギー学科 学士 (理工学)	4年	30人	3年次 1人	122人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 (3年次 1) [若干名]		() []		() []		() []		1.06 倍	
志願者数	56 () [4]	— () []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	44 () [3]	— () []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	34 () [2]	— () []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	32 () [2]	— () []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 32	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[2] (-) 32	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	32 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	32 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 自然エネルギー学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	導入スキル 基礎ゼミナール	1前	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	地域学ゼミナール	1後	2			38 33	40 35	3	14 12		兼456 兼449	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	ローカル科目	青森の行政	1前		2							兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		青森の経済・産業	1前		2							兼3	
		青森の文化	1前		2							兼7 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		青森の歴史	1前		2							兼9 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		青森の芸術 青森の民俗・芸能	1前 1前		2 2							兼7 兼5	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		青森の自然	1前		2		1	3 1	2	1		兼25 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		グローバル科目	グローバル社会・経済	1後		2							兼4 兼7
	国際地域		1後		2							兼8 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
比較文化 世界の芸術・芸能	1後 1後			2 2							兼3 兼9	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
地球環境	1後 未開講			2		1					兼9 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
グローバルヘルス	1後			2							兼50	2年次以上の授業科目を優先したため、教員配置が出来ず未開講 (28)	
日本	1後			2							兼8		
学部越境型地域志向科目	青森の多様性と活性化 青森の食と産業化	2前～4後 2前～4後		2 2		1	1	1			兼22 兼63	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	市民参加と地域づくり	2前～4後		2							兼13 兼14	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	青森エクスカージョン	2前～4後		2							兼10 兼15	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	地域プロジェクト演習	2前～4後		2							兼14 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
											兼23	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
社会・文化	くらし・文化	1前・後		2							兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	歴史・地理	1前・後		2							兼7 兼6	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	思想	1前・後		2							兼4 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	言語学の世界 文学	1前・後 1前・後		2 2							兼3 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	芸術	1前・後		2							兼5 兼17		
	政治経済・社会	1前・後		2							兼22	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	
	法と社会A	1前・後		2							兼18 兼12	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)	
	法と社会B	1前・後		2							兼2 兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)	

自然・科学	環境と生活	1前・後	2		3 -4	1 2				兼29 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	工学の世界	1前・後	2		1	2				兼8 兼15	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	農学の世界	1前・後	2							兼6 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	数学の世界	1前・後	2		4					兼2	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	物理学の世界	1前・後	2		2	3		1		兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	化学の世界	1前・後	2		3	3		1		兼8 兼11	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	生物学の世界	1前・後	2					1		兼27 兼18	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	情報処理入門A	1前・後	2					4		兼4 兼5	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	情報処理入門B	1前・後	2		2	2 8		4	1	兼7 兼12	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
	人間・生命	人間の尊厳	1前・後	2							兼6 兼7
人を育む営み		1前・後	2							兼23 兼17	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
心理学の世界		1前・後	2							兼5 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
メンタルヘルス		1前・後	2							兼5 兼14	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
生活と健康		1前・後	2							兼9 兼19	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
運動と健康A		1前・後	2							兼16 兼13	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
運動と健康B		1前・後	2							兼3 兼6	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
医学・医療の世界 情報と健康・医学		1前・後 1前・後	2 2							兼60 兼50	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
キャリア教育	キャリア形成の基礎	1後	1 2							兼4 兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる単位数及び担当教員の変更 (28)
	キャリア形成の発展	2前	3							兼4	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目追加 (28)
	キャリア形成の発展A	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展B	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリア形成の発展C	3前	2							兼3	C00+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり、教育内容を見直したことによる科目廃止 (28)
	キャリアデザイン	2前~4後	2		1					兼11 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
英語	Listening (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Listening (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (初級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (中級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Reading (上級)	1前	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (初級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (中級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	Speaking (上級)	1後	2							兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)

		Writing (初級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Writing (中級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Writing (上級)	1後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated A (国際共通語としての英語)	2前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 1	2後	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated B(一般学術目的の英語)Level 2	3前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		Integrated C (キャリア英語)	3前	2						兼41 兼22	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
	多言語	ドイツ語 I	1前	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ドイツ語 II	1後	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ドイツ語 III	2後	2						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 I	1前	4						兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 II	1後	4						兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		フランス語 III	2前	2						兼8 兼3	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		ロシア語 I	1前	4						兼1	
		ロシア語 II	1後	4						兼1	
		中国語 I	1前	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		中国語 II	1後	4						兼8 兼2	教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
		朝鮮語 I	1前	4						兼1	
		朝鮮語 II	1後	4						兼1	
専	専	理工系の数学A	1前	2						兼1	
門	門	理工系の数学B	1前	2						兼1	
教	基	微分積分学	1後	2						兼1	
育	礎	力学 I	1前	2		+				兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
科	科	電磁気学 I	1後	2			+			兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
目	目	化学概論	1後	2			+			兼1	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
		熱力学	2前	2			1				
		統計学の基礎	2前	2						兼1	
	個	地球環境学概論	1前	2						兼6 兼1	教育内容充実のため、担当教員の追加
	別	生物学の基礎C	1前	2						兼3 兼4	教育内容充実のため、担当教員の追加
	基	基礎物理学実験	2前	2		1	3				
	礎	基礎化学実験	2後	2		1	3				
専	必	自然エネルギー学概論 I	1前	2		4 2	3		1		教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
門	修	自然エネルギー学概論 II	1後	2		4 2	3		1		教育内容充実のため、担当教員の追加 (28)
応	科	科学技術英語	1前	2		-4 3			1	兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
用	目	自然エネルギー技術英語演習 I	1後	2		-4	3		1	兼4	教育効果充実のため、担当教員の変更 (28)
科		自然エネルギー技術英語演習 II	2前	2		4	3		1	兼4	
		計算機プログラミング	2後	2			1				
		エネルギー物理化学	3前	2		1					
		流体科学	2後	2			1				
		電気工学	2後	2			1				

	エネルギー化学	2前	2		1					
	エネルギー材料工学	2後	2			1				
	エネルギー変換工学 I	2前	2		1	3				
	伝熱工学	3後	2		1					
	自然エネルギー実験 I	3前	2		2	3		1		兼4
	自然エネルギー実験 II	3後	2		2	3		1		兼4
	自然エネルギー演習 I	3前	2			3		1		兼4
	自然エネルギー演習 II	3後	2			3		1		兼4
	自然エネルギー研修 I	4前	2		4	3		1		兼4
	自然エネルギー研修 II	4後	2		4	3		1		兼4
選択必修科目	地下水文学	3後		2		1				
	放射線科学	1後		2			4			兼1 教育効果充実のため、担当教員の変更(28)
	資源探査学	2前		2		1				
	エネルギー電気化学	2後		2			1			
	気候システム学	3前		2			1			
	エネルギー変換工学 II	2後		2		1	3			
	エネルギー貯蔵・輸送論	3前		2		1				
	波動・振動論	3前		2		1				
	エネルギーマネジメント論	3後		2		1				
	エネルギー量子物理学	3前		2			1			
	エネルギー環境経済学	3後		2		1				
	低炭素エネルギー学	3前		2		1				
	省エネルギー技術概論	3前		2		1				
	環境アセスメント概論	3後		2		1				
マネジメント科目	経営管理論	4前		2						兼1
	ベンチャービジネス論	4後		2						兼1
	現代科学史	4前		2						兼1
	知的財産論	4後		2						兼1
	技術者倫理	4前		2						兼1
	企業経営史 I	4前		2						兼1
	卒業研究	4前後	12			4	3		1	兼4

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	98	0	133	35	96	0	131	
				[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	グローバルヘルス	2	1後	一般	選択	2年次以上のグローバル科目を優先したため，教員配置が出来ず未開講。代替措置無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	キャリア形成の発展A	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
2	キャリア形成の発展B	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。
3	キャリア形成の発展C	2	3前	一般	選択	COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施にあたり，教育内容を見直したことによる科目廃止。代替措置有。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「グローバルヘルス」は，2年次以上が受講する21世紀教育科目（平成27年度までの入学者を対象とした旧教養教育科目）を優先して開講したため，後期に教員を配置することが出来ず，未開講となった。ただし，選択科目であり，グローバル科目が他にも多数開講されること，平成29年度は開講予定で希望すれば受講出来ることから，学生への影響はない。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みである。</p> <p>COC+事業採択に伴うカリキュラム改革実施に伴い，キャリア教育科目全体の教育内容を，多様なプログラムを含む，より充実したカリキュラムとするため，「キャリア形成の発展A」，「キャリア形成の発展B」，「キャリア形成の発展C」を廃止し，新たに「キャリア形成の発展」を追加する等の見直しを行った。なお，学生には新入生ガイダンス及び掲示により周知済みであることから，影響はない。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	弘前大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
人文社会科学部									
文化創生課程	4	110	0	110	学士 (人文社会科学)	1.03	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程	4	155	0	155	学士 (人文社会科学)	1.05	平成28年度	同上	
人文学部									
人間文化課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度より 学生募集停止
現代社会課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
経済経営課程	4	-	-	-	学士 (人文社会科学)	-	平成17年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	150	0	585	学士 (教育学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	平成28年度入学定員増(5人)
養護教諭養成課程	4	20	0	95	学士 (教育学)	1.02	平成12年度	同上	平成28年度入学定員減(△5人)
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部									
医学科	6	112	2年次 20	753	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科	4	200	3年次 30	860	学士 (看護学又は保健学)	1.00	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	
理工学部									
数物科学科	4	78	3年次 2	78	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
物質創成化学科	4	52	3年次 1	190	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員増(6人)
地球環境防災学科	4	65	3年次 2	65	学士 (理工学)	1.01	平成28年度	同上	
電子情報工学科	4	55	3年次 2	229	学士 (理工学)	1.01	平成18年度	同上	平成28年度入学定員減(△3人)
機械科学科	4	80	3年次 2	80	学士 (理工学)	1.02	平成28年度	同上	
自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	30	学士 (理工学)	1.06	平成28年度	同上	
数理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
地球環境学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	

知能機械工学科	4	-	-	-	学士 (理工学)	-	平成18年度	同上	
農学生命科学部									
生物学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士 (農学生命科学)	1.00	平成20年度	同上	
食料資源学科	4	55	0	55	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
国際園芸農学科	4	50	0	50	学士 (農学生命科学)	1.00	平成28年度	同上	
地域環境工学科	4	30	0	120	学士 (農学生命科学)	1.01	平成20年度	同上	
生物資源学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	平成28年度より 学生募集停止
園芸農学科	4	-	-	-	学士 (農学生命科学)	-	平成20年度	同上	
【大学院】									
人文社会科学研究科									
(修士課程)									
文化科学専攻	2	10	0	20	修士 (人文社会科学)	0.95	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士 (人文社会科学)	0.49	平成11年度	同上	
教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育専攻	2	6	0	12	修士 (教育学)	0.91	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
教科教育専攻	2	23	0	46	修士 (教育学)	1.12	平成6年度	同上	
養護教育専攻	2	3	0	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年度	同上	
医学研究科									
(博士課程)									
医科学専攻	4	60	0	210	博士 (医学)	0.93	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地	平成28年度入学定員増(10人)
保健学研究科									
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	30	0	55	修士 (看護学又は保健学)	1.18	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	平成28年度入学定員増(5人)
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	12	0	30	博士 (保健学)	1.14	平成19年度	同上	平成28年度入学定員増(3人)
理工学研究科									
(博士前期課程)									
理工学専攻	2	120	0	210	修士 (理工学)	1.01	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地	平成28年度入学定員増(30人)
(博士後期課程)									
機能創成科学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	1.00	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)

安全システム工学専攻	3	6	0	14	博士 (理学又は工学)	0.88	平成16年度	同上	平成28年度入学定員増(2人)
農学生命科学研究科 (修士課程)									
農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.58	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地	
地域社会研究科 (博士課程)									
地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.32	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 自然エネルギー学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
4	3	0	1	8	4	3	0	1	8	4	3	0	1	8
(4)	(3)	(0)	(1)	(8)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

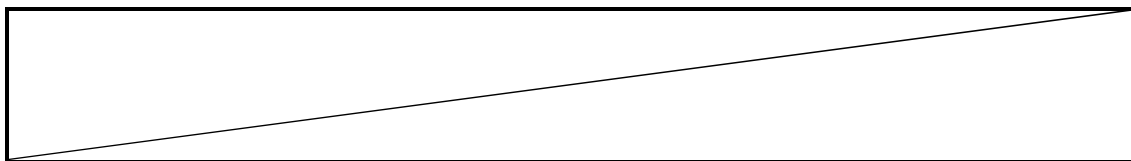
上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」



(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<理工学部 自然エネルギー学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>	
--	--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28年 5月 31日)